

平成 30 年 7 月 18 日

18<sup>th</sup> Jul, 2018

大学院学生各位

To All Graduate Students

平成 30 年度 基盤医学特論 開講通知 Information on Special Lecture Tokuron & Tokupro AY2018

## 特徴あるプログラム オミクス解析学プログラム

### Omics Analysis Program

題目：がん細胞間の転写不均一性と薬剤抵抗性のエピジェネティック制御

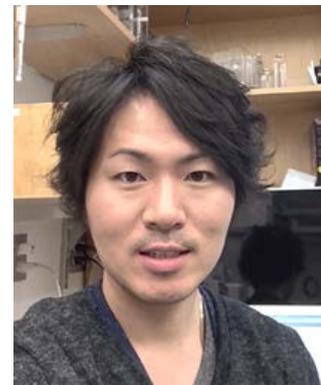
Title : Epigenetic regulation of cellular transcriptomic heterogeneity and therapeutic resistance

講師：日野原 邦彦 先生

(ダナ・ファーバー癌研究所・博士研究員)

Teaching Staff : Dr. Kunihiko HINOHARA

(Postdoctoral fellow, Dana-Farber Cancer Institute)



日時：2018 年 8 月 9 日 (木) 17:00~18:30

Time and Date : 9<sup>th</sup> Aug, 2018 17:00-18:30

場所：基礎研究棟 第 1 講義室

Room : Basic Medical Research Building Lecture room No.1

#### 概説：

腫瘍内不均一性は薬剤抵抗性や疾患進行の主要な決定因子であり、その詳細な解明は科学的・臨床的に重要な課題である。近年のがんゲノムシーケンスによりヒト腫瘍組織における細胞間の遺伝的不均一性が明らかになってきたが、エピジェネティックな不均一性や転写不均一性についてはほとんど研究がなされていない。また、そのような細胞間のばらつきを制御するメカニズムも未解明である。

本講義では、ヒストン脱メチル化酵素 KDM5B による乳がん細胞の転写不均一性と薬剤抵抗性の制御について紹介する。さらにシングルセルバーコーディングによる薬剤抵抗性クローンの同定や、CRISPR による synthetic lethal screening についても触れる。

使用言語：日本語

Language : Japanese

関係講座・部門等の連絡担当者:神経遺伝情報学・大野欽司、システム生物学・島村 徹平 (内線 1980)

Contact : Division of Neurogenetics・Kinji Ohno, Division of Systems Biology・Teppei Shimamura (ext. 1980)

事前連絡は不要です。

No registration required.